

機械器具 16 体温計

管理医療機器 再使用可能な能動型機器接続体温計プローブ 37340002

体温プローブ

【禁忌・禁止】

〈併用医療機器〉「相互作用の項参照」

1. MRI 検査を行う際は本品を検査室に持ち込まないこと。[MR 装置への吸着や、火傷等のおそれがあるため。]

【形状・構造及び原理等】

形状



咽頭/直腸用体温プローブ

カタログ番号	備 考
M1024247	直腸用体温プローブ成人用 3m
M1024251	直腸用体温プローブ小児用 3m

【使用目的又は効果】

体温計に接続し体温測定のため直腸等に挿入する。本製品は開口部（咽頭までの口腔、鼓膜までの外耳道、又は鼻腔を除く）での短期的使用を意図しており、洗浄、消毒及び又は滅菌をして再使用することができる。

【使用方法等】

1. プローブに水溶性の潤滑剤を塗る。
2. プローブを患者の測定部位に配置し、適切な深さまで進める。
3. 体温プローブのプラグを体温ケーブルのジャック又は互換性のある装置に接続し、体温が表示されることを確認すること。
4. 体温ケーブルを装置から外す際はコネクタ部を保持し、ゆっくと抜くこと。

〈使用方法等に関する使用上の注意〉

1. 深く挿入しすぎないように注意すること。

【使用上の注意】

〈重要な基本的注意〉

1. 本品は GE Healthcare 社装置又は、体温プローブ 400 シリーズと互換性のある装置以外には使用しないこと。
2. 次亜塩素酸塩、アセトン、フェノール系、アンモニア系を基とするクリーナーを使用しないこと。
3. 食道に挿入する際は呼吸のリーク音に注意すること。誤って気管支に挿入した時には気管チューブのカフ周りからガスが漏れる。リークを塞ぐことはせず挿入し直すこと。

〈相互作用（他の医薬品・医療機器等との併用に関すること）〉

1. 併用禁忌（併用しないこと）

医療機器の名称等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
核磁気共鳴画像診断装置（MRI 装置）	検査室に本品を持ち込まないこと。 MRI 検査を行うときは、本品を患者から取り外すこと。	誘導起電力により局部的な発熱で火傷のおそれがある。また、磁気により本品が吸着されるおそれがある。

2. 併用注意（併用に注意すること）

- 1) 電気メス使用中は、適切な対策を取り、高周波干渉電流を少なくし患者が火傷することがないようにすること。
- 2) 電気メスのケーブルやモニタのケーブルを絡めないこと。

【保管方法及び有効期間等】

〈保管条件〉

周囲温度：-30～60℃

相対湿度：（結露しないこと）

〈耐用回数〉

クリーニングテスト 50 回

本品は消耗品（修理不可能）である。異常があれば新品と交換すること。

【保守・点検に係る事項】

〈使用者による保守点検事項〉

1. 本製品の使用前及び使用後に、損傷、劣化、異常等が無いか目視点検を行い、破損が確認されるときは使用しないこと。
2. 全てのケーブルやコネクタが安全にセットされていることをチェックすること。
3. 洗浄
 - 1) 使用前に製品の破損・汚れがないか確認すること。目視で確認できる損傷がある場合は直ちに使用を中止すること。
 - 2) 使用後は中性洗浄液に浸し、毛先の柔らかいブラシを使用して汚れを完全に除去すること。
 - 3) 洗浄後は滅菌した柔らかい布で水分を取り除くこと。力をかけすぎると、ケーブルジャケットが伸びたり、プローブに損傷を与えたりする可能性があるため注意すること。
 - 4) オートクレーブ滅菌は 132℃～135℃で 3～18 分間（乾燥 30 分）行うこと。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：

パイエアメディカル合同会社

TEL：0120-951-321（カスタマーサービス）

外国製造業者：

パイエア メディカル オーワイ（Vyaire Medical Oy）

国名：フィンランド共和国